ハンディキャップ委員会活動へのご協力のお礼とお願い

2011年9月吉日

障がいを持つ方々のスキーをはじめとするウインタースポーツを支援してゆく目的のために発足したハンディキャップ委員会は12年目を迎えます。数多くのボランティアの方々をはじめ、関係組織の方々に支えていただき、活動に取り組むことが出来ました。

昨シーズンの終盤の3月11日、千年に一度と言われる観測史上最大級の地震と大津波が東北地方で発生し東北地方沿岸の道路も家もビルも田畑も港もすべて破壊され、福島の原子力発電所も崩壊するという東日本大震災となりました。

財団法人神奈川県スキー連盟は今回の大震災で被災を受けた方々への人道的および社会的責任、引き続き警戒される余震や２次的災害が危惧される中、参加者の危険回避・安全確保の面から、予定されている雪上等での開催事業、派遣事業等について全ての開催を中止することにいたしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

1月の五竜ハンデイキャップスキー教室では総勢５１名の参加で無事終了することが出来ましたが、３月末の総勢104名の参加予定の車山スキー教室は4月のチャレンジカップスキー大会とともに開催中止に至りました。二行事を中止することになりましたが、一歩ずつではありますが前進してきたと考えています。皆さまのご協力にあらためて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ハンディキャップ委員会では、これらの活動の重要性を再認識し、スキーをはじめとするウインタースポーツをより楽しみたいと望んでいる障がいを持つ方々と共に、更に一歩前進していきたいと思っております。過去の実践で得られた貴重な経験を踏まえ、今年度も疑似体験を通して、委員はもちろんボランティアの方々が、障がいについての理解を深め、よりよい支援活動が可能となるようにと「ハンディキャップセミナー（障害者のサポートについて・雪上でのサポート指導実践）」を開催いたします。また車山行事では、参加者の方々が参加しやすいように往復バスを利用し、ボランティア登録をしていただいている方々のご協力のもと生活サポートも含めた取り組みを行ってゆきます。もちろんチャレンジカップスキー大会のサポートもさらに力を注いでゆきたいと考えております。これらの事業を実施するにあたっては、参加者の実費負担を原則とはいたしますが、セミナーや行事運営、委員諸活動、ボランティアへの謝礼その他に多くの資金が必要となってまいります。昨年度から、スポーツ振興くじ（toto）助成金の交付申請が認められましたので、より充実した内容で備品の整備や運営が出来るものと考えております。「善意の賛助会費」については今後も全くうけないということではありません。今シーズンもハンディキャップセミナーへのご参加、ボランティア登録及びスキー教室等のボランティア参加もあわせてよろしくお願い申し上げます。

なお指導員、準指導員の方々は、研修会・クリニックと併設で行われるハンディキャップ行事へのボランティアとしてのご協力は研修会、クリニック参加として認められますので、ふるってご参加ください。

（財）神奈川県スキー連盟
ハンディキャップ委員会
委員長　越前谷芳隆

ハンディキャップ委員会　活動報告

2011 年9月

◎ハンディキャップセミナーⅠ・Ⅱ

Ⅰ．障がい者のサポートについて：2010 年 11 月8日（日）神奈川県立三ツ沢スポーツ会館
　参加者：１６名　　講師：１名　　役員：１名　　ゲスト：視覚障がい者と盲導犬

Ⅱ．雪上でのサポート・指導実践：2011 年１月 21 日（金）白馬五竜スキー場
　参加者：１７名　　講師・スタッフ：２名

PSA 理事長の馬場賢親氏を講師にお迎えし、「C カテゴリー：視覚障がいと聴覚障がい者へのサポート」を中心として、より具体的な講習と実践の体験を行いました。セミナーⅠでは、障がいの理解（座学）に加え、視覚・聴覚障害についての疑似体験を中心に学び、セミナーⅡでは、雪上でのサポートの基本と疑似体験（アイマスク着用・無線機使用）を、実践的に取り組みました。

◎ 障がいをもつ方のためのスキー教室

五竜・車山で実施される２回のスキー教室について、スポーツ振興くじ（toto）助成金（１０９万円）が決定していましたが、震災の影響により車山でのスキー教室は中止となりましたので、五竜行事について、４７万円の交付を受けることができました。

・第１７回　スキー教室　2011 年１月 22 日(土)～23 日(日)：白馬五竜スキー場
　参加者：23 名（視覚　３名・聴覚　１名・知的　11 名・下肢　４名・家族　４名）
　役員・委員：13 名　ボランティア講師：16 名　　検定会合格者：　３級　３名　・　４級　３名

さまざまな障がいをもつ方が参加されたが、多くのボランティアの方の協力により、少人数での班分けができ、障がいやスキーレベルにあわせた、楽しく充実した講習を実施することができました。

◎ハンディキャップ委員会活動

７月から７回の委員会と２回の作業会を実施し、行事の準備をいたしました。

11 月の指導員研修会へは、手話通訳者の派遣を行いました。また、養成講習会には、準指導員受検者への介助サポートも行いました。

◎賛助会費

６月協会長会議・９月手続き要領説明会・11 月指導員研修会理論・12 月北海道行事・１月五竜スキー教室等で、多くの賛助会費のご協力をいただきました。

行事運営費の一部として、大切に使用させていただきました。ありがとうございました。

合計金額　88,211 円　　（のべ２８の個人・団体の方々より）

◎ 震災の影響により、車山スキー教室・鹿沢チャレンジカップの２行事は中止となりましたが、関係者のご協力により大きな混乱なく対応できました。ありがとうございました。